

# 百聞は一見にしかず！ 弊社社員のジャカルタ訪問記

## 読むだけで行った気になるレポート：インドネシア編

情報提供資料 2018年4月

弊社社員がジャカルタを訪問してきました。本レポートでは、個人的な見解を踏まえて現地の様子を報告いたします。

### ➤ シンガポールにも引けを取らないジャカルタの街並み

- ジャカルタ市内に到着したら、まず最初に驚くのはその街並みです。巨大なショッピングモールに、立ち並ぶ高層ビル。日本やシンガポールにも引けを取らないと感じます。
- 東京・横浜都市圏に次いで世界第二位の都市圏人口を誇るグレーター・ジャカルタ。その中心地となるジャカルタ特別州では都市への人口流入も著しく、高度経済成長期の日本さながらに日々都市開発が進んでいます。

#### ＜巨大高級ショッピングセンター＞ グランド インドネシア



#### ＜立ち並ぶビル群＞



- しかしながら、その驚きはやがて不満へと変わってしまいます。足元の道路事情があまりに脆弱すぎるためです。急激な都市成長に鉄道や道路などの公共交通機関の整備が追いついていないとも言えます。
- 目と鼻の先にあるはずのビルまで出かけようにも、まず歩道が見当たりません。道路を渡ろうにも信号も横断歩道も、歩道橋もありません。かなり向こうの方まで遠回りする羽目になり、またタクシーで移動しようにも、絶望的な渋滞が待ち構えています。

#### ＜ジャカルタ名物 交通渋滞＞



・あともう少しで目的地なのに時間がかかります。また、中央分離帯が工事中で向こう側に渡れません。

(写真：すべてイーストスプリング・インベストメンツ社員撮影)

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。



➤ **前政権は消費向上に重点を置いた政策、ジョコ大統領はインフラ整備に注力**

- このギャップはどこから来るのでしょうか。推測するに、政府当局の政策が背景にあるのではないかと考えました。前の政権はインフラを後回しにし、補助金バラマキなどにより消費を刺激することを優先していたと言われています。旺盛な消費、堅調な企業収益に対してインフラが脆弱になったのはそのためではないでしょうか。現ジョコ政権では補助金をカットして、その代わりに成長分野であるインフラや教育への予算を増加させています。より長期の経済発展のためには正しいアプローチだと感じます。
- ジョコ政権は2014年に誕生し、第1期目となる最初の5年はインフラに注力し、経済の効率化、インフレ改善などを目指しています。ジャカルタなどの都市部では高速道路や鉄道の建設を進める一方で、カリマンタンなどの周辺部では港や空港の整備を進めています。第2期の政権（来年の次期選挙で勝利できれば）では、人材開発の強化、例えば職業訓練などで技術の高度化、所得水準の向上を目指すとも言われています。
- インドネシア経済は通信や消費などの非貿易財分野が成長をけん引し、製造業などの貿易財分野はまだ成長途上です。製造業強化が課題ではあるものの、そのためにはまずはインフラ整備が急務と言えます。

【ちょっと一息：渋滞を避ける方法】

- 渋滞を避けたいなら、まずはトランスジャカルタ（高速バス交通）が最初の選択肢になります。バスは専用レーンを走るため、渋滞知らず、快適です。鉄道が整っていないジャカルタ市内にあって、軌道の敷設が不要なバスシステムは、市内のいたるところにアクセス可能な路線網を持っています。運賃は一律3,500ルピア（約30円）とかなりお手軽。トランスジャカルタに乗るためには、専用の歩道橋を渡って道路中央にある乗り場ホームへ向かいます。ホームへの入場の際に運賃をICカードで支払い、行先に応じたバスに乗り込みます。

<その1 高速バス>



- 日本でもタクシー配車アプリのウーバーが有名ですが、インドネシアではグラブやゴジェックが有名。町中のあちこちで看板や、緑色のヘルメットやジャンパーを着込んだドライバーが運転するバイクタクシーを見かけます。

<その2 バイクタクシー>



・でもバイクの二人乗りに挑戦する勇気はありませんでした。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



➤ **急ピッチで進める交通プロジェクト MRT/LRT**

- MRT（都市高速鉄道）は2019年半ばに開通予定。資金の大半を円借款（JICA）から融通しており、工事には日本の建設企業が多く参加しています。ジャカルタ市内を走るMRTに対して、市内と郊外を結ぶLRT（計量軌道交通）の建設も進められており、こちらも早ければ2019年半ばには一部区間の運行が開始されるかもしれません。

＜市内中心部のMRTの工事現場＞



・市内中心部（タムリン噴水広場）でも着々と工事が進んでいます。

＜郊外で見かけるLRTの工事現場＞



・資金繰りの悪化から一時中断されていた工事も再開された模様です。

➤ **充実したショッピングセンター、1日を家族で過ごす姿も**

- それにしても暑くてたまりません。4月初めだというのに30度超え。いや、これは正しくない表現かもしれません。と言うのも、ジャカルタは赤道付近に位置するため、年間を通してあまり気温は変化せず、常に30度前後の気温となっています。夏は乾季となりますが、夏以外の雨季の湿度は80~90%。まとわりつくような暑さが体力を奪います。これほどまでに蒸し暑いと、街をぶらぶらするのもウンザリしてしまって、自然とショッピングセンターに足が向かいます。

＜ショッピングセンターのメインフロア＞



・冷房の効いた店内は快適です。家族連れを多く見かけます。

＜ショッピングセンター内の映画館＞



・家族が一日過ごせるよう、映画館や児童遊戯施設なども充実しています。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。



▶ **日本食文化が定着？回転寿司コーナーも**

- 外食文化が定着していることもあるのか、ショッピングモール内にはレストランやフードコートが充実しています。どのフロアに行ってもスターバックスがあるのには驚きました。
- レストランは寿司やちゃんぽん、お茶漬けなどの日本食が人気の模様。スーパーマーケットの食品売り場にも日本食コーナーがあります。（日本人駐在員が多いのも理由かもしれません。）

＜ショッピングセンター内、日本食品コーナー＞



・日本人も暮らしやすそうで、ほっとします。

＜ショッピングセンター内、自動車販売コーナー＞



・インドネシアでは日本車の人気が高く街中でもよく見かけます。

- インドネシアでは、一般に消費が拡大する目安と言われる国民一人あたりの名目国内総生産（GDP）3,000米ドルを超えており、耐久消費財（家電や自動車など）の売り上げが伸びています。中でもジャカルタ市民は所得水準が相対的に高いため、購買力もさらに高いようです。ショッピングセンターでは家電や自動車の展示などの催しが開催されている他、住宅取得が進んでいることが背景にあるのでしょうか、DIY専門店や家具専門店などがフロアの大きな面積を占めていました。

＜ショッピングセンター内、日本の家電量販店による催し＞



・家電の普及率は今後も高まると考えられます。

＜ショッピングセンター内、家具専門店＞



・おしゃれな家具コーナーはかなりのスペースを占めています。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



<エース・ハードウェア・インドネシア>



・米国の老舗ホームセンター・チェーン（エース・ハードウェア）とのライセンス契約で、インドネシア国内の主要都市に約120店舗を展開。  
中間所得者層以上をターゲットとしDIY用品に加え、スポーツ用品やペット用品の販売も手がけています。

- 今回の訪問を通じて何よりも強く感じたのは、その経済成長の力強さ、躍動感でした。ショッピングセンターは家族連れでにぎわい、街のあちこちでビルを建築中、道路は車であふれ、市内郊外を問わず鉄道などの大型インフラを建設中。経済成長の確かさと言っても良いかもしれません。

インドネシアは、今まさに経済の高成長の要件の一つである「人口ボーナス期\*」の只中にあり、今後も高い経済成長が予想されています。

\*総人口に占める生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の比率が高い時期

- 弊社グループインドネシア拠点の最高投資責任者（CIO）は、「2019年に大統領選挙を控え、現政権は政治の安定を重視する。2018年は投資の観点からも安定を期待している。」と話していました。

今年、インドネシアと日本は国交60周年を迎えます。節目となる今年、2018年がインドネシア債券・株式投資にとって良い年になることを期待しています。

【ちょっと一息：インドネシアの料理】

- インドネシア版の焼き鳥「サテ」や炒飯「ナシゴレン」は有名ですが、今回は「ソブントゥツ」をご紹介します。いわば牛のテールスープをご飯にかけて食べるようなインドネシア料理で、柔らかく煮込まれた牛肉とコラーゲン、野菜の出汁が効いたスープをかけて食べるご飯は絶品です。



・言うなれば甘い焼き鳥「サテ」はビールが進みます。



・甘い炒飯と侮ってチリの混ぜすぎ注意「ナシゴレン」。



・テールスープご飯「ソブントゥツ」はやさしくて、しかもしっかりとした味わい。今回一番の当たりでした。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

〔ちょっと一息：モスク〕



・国立のイстикラル・モスクです。約40年前に建造されました。現存のモスクの中では、メッカ、サウジアラビアに次いで世界第3位の規模を誇ります。

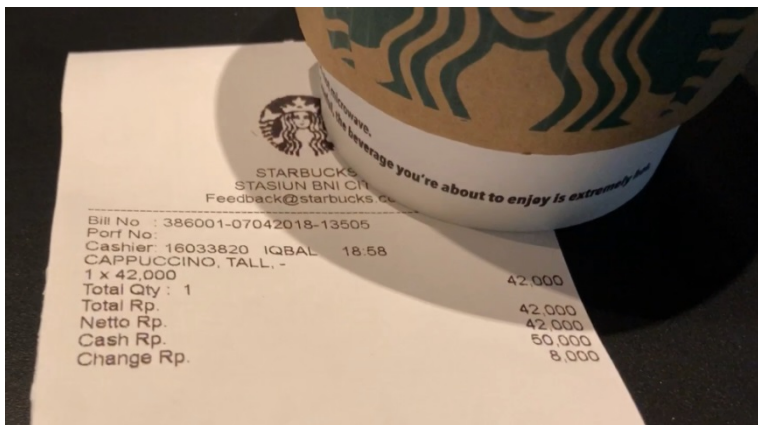
〔ちょっと一息：インドネシアのお札〕

・200万ルピア およそ1.6万円。ちょっとお持ちになった気分です。



〔ちょっと一息：カプチーノの値段〕

・4万2千ルピア およそ330円。日本より少し安い程度です。



※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会